

はじめに

このドキュメントは L-Acoustics 製品のすべてのユーザーを対象としています。エンクロージャーとアンプリファイドコントローラーの接続に関するリファレンス情報をまとめています。

- **負荷インピーダンスと出力電力** (p.1) を参照し、エンクロージャーの公称インピーダンスから**合計インピーダンス**を求め、アンプリファイドコントローラーの**最大出力**を確認します。
- **アンプリファイドコントローラーあたりのエンクロージャードライブ能力** (p.2) を参照し、アンプリファイドコントローラーごとにドライブ可能な**エンクロージャータイプと数量**を確認します。
- **スピーカーとの接続** (p.3) では、エンクロージャーの種類別に分類した、L-Acoustics のスピーカーケーブルを使用した**一般的な配線方法**を記載しています。
- **固定設備案件**の場合には、**スピーカーケーブルに関する推奨事項** (P.6) を参照してください。



エンクロージャーのプリセットやディレイ設定の詳細については、プリセットガイドを参照してください。

負荷インピーダンスと出力電力

ほとんどのエンクロージャーの公称インピーダンスは 8Ω です。例外は次のとおりです：

- 16 Ω :
 - K2 (HF)、Kiva II、V-DOSC (HF)、5XT、X4i
- 4 Ω :
 - SB28、KS28、Syva Low、K1-SB、SB6i

合計インピーダンス

公称	エンクロージャー数 / パラレル接続のセクション数				
	2	3	4	5	6
16 Ω	8 Ω	5.3 Ω	4 Ω	3.2 Ω	2.7 Ω
8 Ω	4 Ω	2.7 Ω	-		



4Ωエンクロージャーはパラレル接続できません。*

各アンプリファイドコントローラーの出力あたりのドライブ可能なエンクロージャー／セクションの最大数については、**アンプリファイドコントローラーあたりのエンクロージャードライブ能力** (p.2) を参照してください。

アンプリファイドコントローラーの最大出力電力

タイプ	16 Ω 負荷	8 Ω 負荷	4 Ω 負荷	2.7 Ω 負荷
LA12X	-	4 x 1400 W	4 x 2600 W	4 x 3300 W
LA7.16(i)	16 x 580 W	16 x 920 W	16 x 1000 W	---
LA4X	-	4 x 1000 W		-
LA2Xi	4 x 190 W	4 x 360 W	4 x 640 W	-
	-	2 x 1260 W	-	
		-	1 x 2550 W	

CEA-2006/490A 1kHz テスト方法、全チャンネル駆動。

* Syva Low と SB6i を除く

アンプリファイドコントローラーあたりのエンクロージャードライブ能力



出力のミュート、全体的な減衰、またはオーディオ品質の低下のリスク。

接続エンクロージャー数（チャンネルごとおよび合計）が最大数を超えてはいけません。

表示数より多くのエンクロージャーをドライブすると、アンプリファイドコントローラーの保護システムが作動する可能性があります。

	LA2Xi			LA4X	LA7.16(i)	LA12X
	出力あたり* / 合計			出力あたり* / 合計	出力あたり* / 合計 ^b	出力あたり* / 合計
	SE ^a	BTL	PBTL			
X4i	4 / 16	---		4 / 16	4 / 64	6 / 24
5XT	4 / 16	---		4 / 16	3 / 48	6 / 24
X6i	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
X8	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
X8i	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
X12	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 14	3 / 12
X15 HiQ	1 / 2	---		1 / 2	1 / 8	3 / 6
Syva	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 10	3 / 12
A10(i) Wide/Focus	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	1 / 16	3 / 12
A15(i) Wide/Focus	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 10	3 / 12
K1	---			---	---	2 / 2
K1-SB	---			---	---	1 / 4
K2	---			1 / 1	1 / 4	3 / 3
K3(i)	---			1 / 2	1 / 8	3 / 6
Kara II(i)	2 / 4	---		2 / 4	1 / 8	3 / 6
Kiva II	2 / 8	2 / 4	---	2 / 8	2 / 32	6 / 24
L2 / L2D	---			---	1 / 1	---
KS28	1 / 4	---	1 / 1	---	---	1 / 4
KS21(i)	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 8	2 / 8
SB18 / SB18 IIi	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 6	3 / 12
SB15m	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 9	3 / 12
Syva Low	1 / 4	---		1 / 4	1 / 8	2 / 6 ^c
Syva Sub	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	1 / 16	3 / 12
SB10i	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	2 / 32	3 / 12
SB6i	1 / 4	---		1 / 4	1 / 16	2 / 8

生産完了品のエンクロージャーとアンプリファイドコントローラーについてはプリセットガイドを参照してください。

* パッシブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続エンクロージャー数に対応し、アクティブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続セクション数に対応します。

a X4i と 5XT を除くシステムは、SE オペレーティングモードでは最大 SPL が減少します。詳細は LA2Xi オーナーズマニュアルを確認してください。

b 全チャンネルをフルパワーでドライブすると仮定した場合の公称の数値です。パワーバジェットの数値にかかわらず最大数を超えないようにしてください。100V 電源でドライブする場合は、パワーゲージが 75%を超えないようにエンクロージャー数を減らしてください。

c LA12X は 1 出力あたり最大 2 コの Syva Low をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

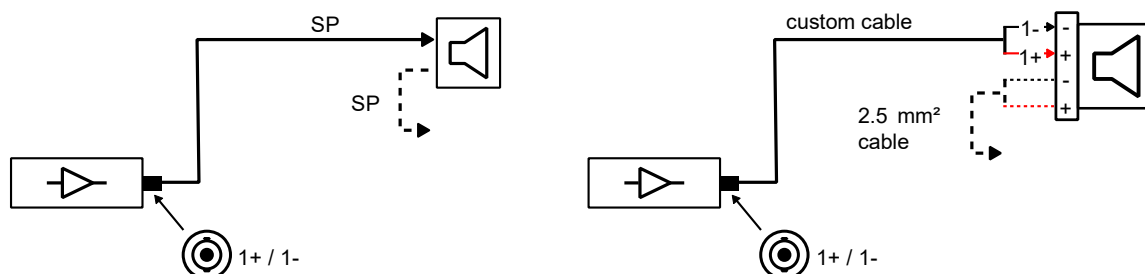
スピーカーとの接続



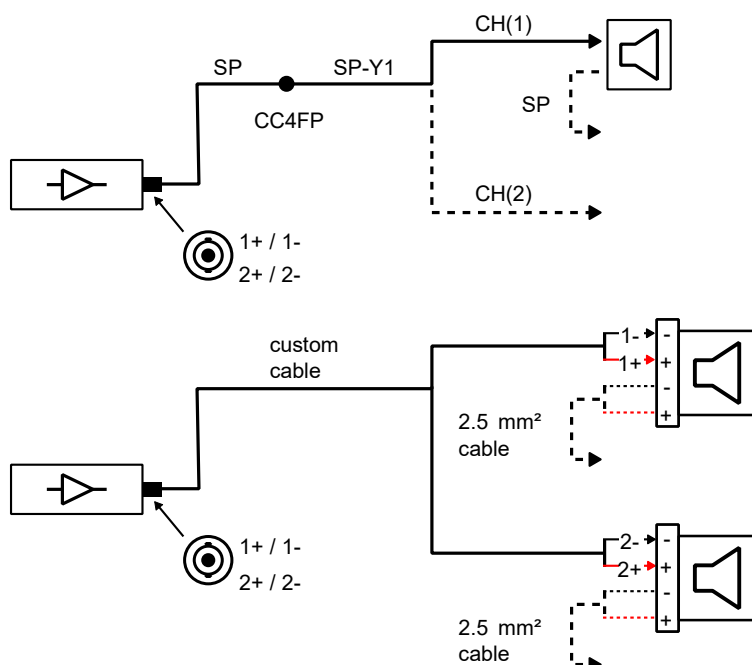
特定のケーブル接続手順については、エンクロージャーシステムのユーザードキュメントを参照してください。

1 チャンネルエンクロージャー

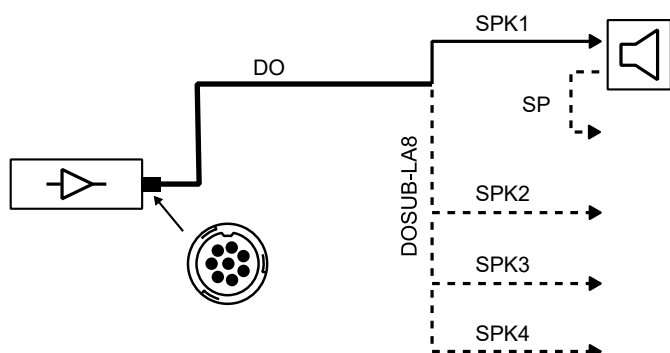
1 チャンネル speakON 出力



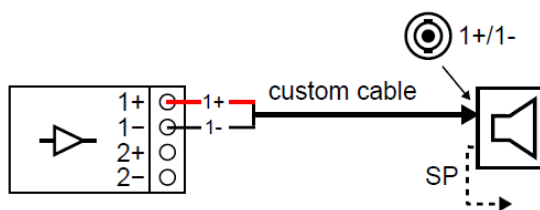
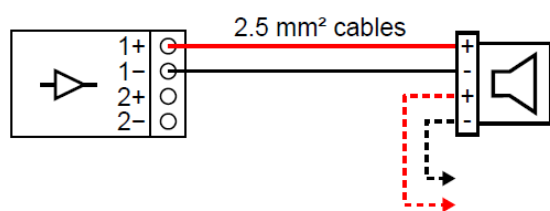
2 チャンネル speakON 出力



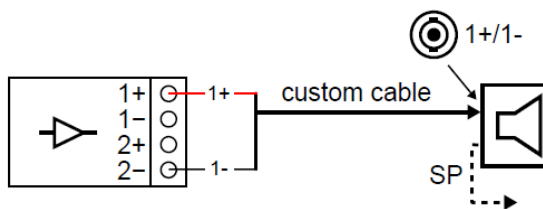
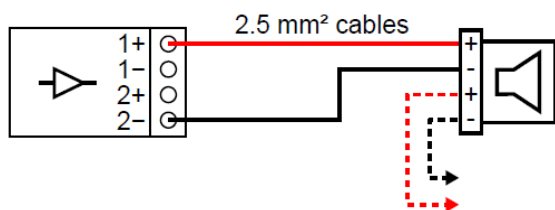
4 チャンネル CA-COM 出力



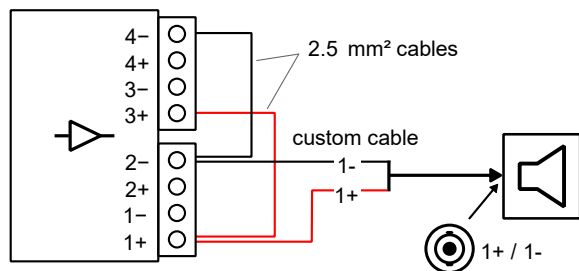
LA2Xi ターミナルブロック出力 (SE)



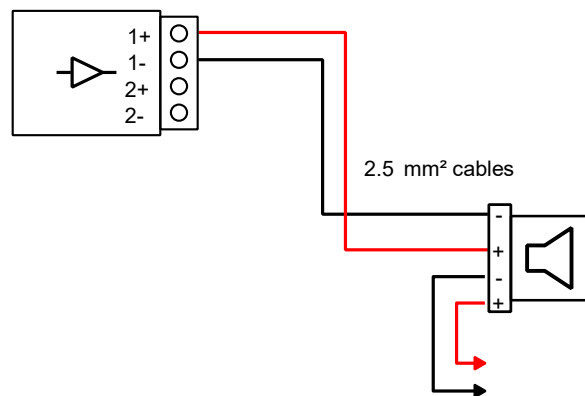
LA2Xi ターミナルブロック出力 (BTL)



LA2Xi ターミナルブロック出力 (PBTL)

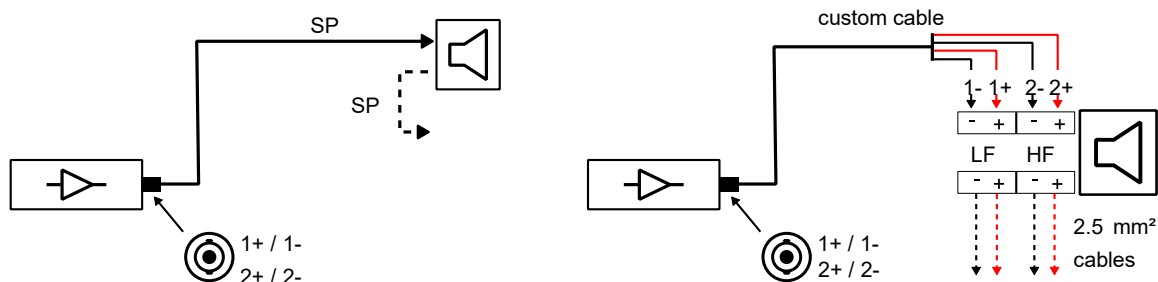


LA7.16i ターミナルブロック出力 (PBTL)

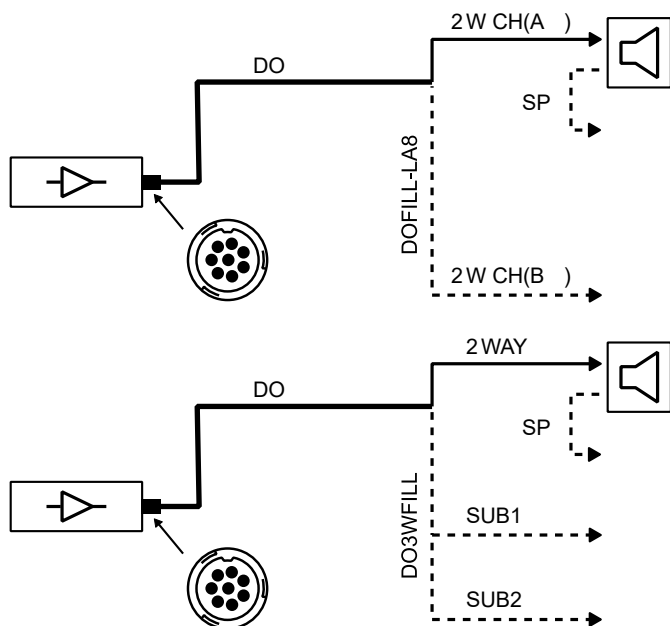


2 チャンネルエンクロージャー

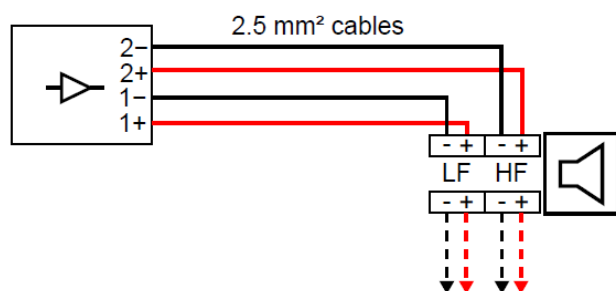
2チャンネル speakON 出力



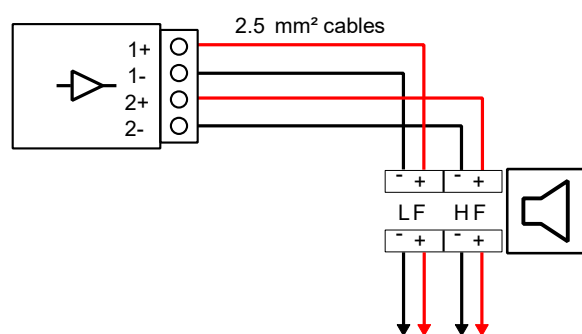
4 チャンネル CA-COM 出力



LA2Xi ターミナルブロック出力 (SE)

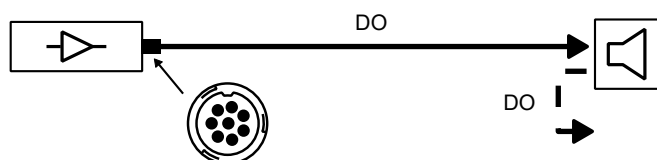


LA7.16i ターミナルブロック出力

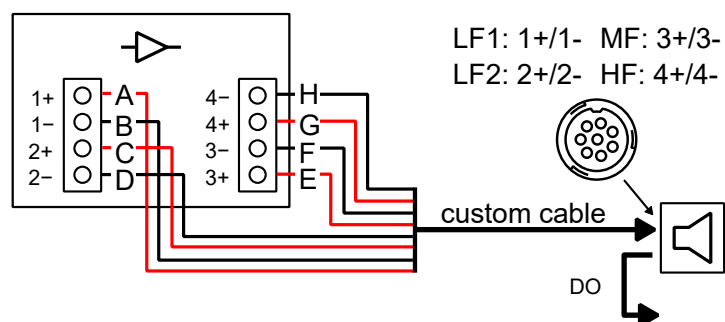


4 チャンネルエンクロージャー

4 チャンネル CA-COM 出力

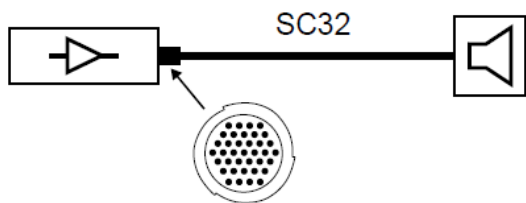


LA7.16i ターミナルブロック出力

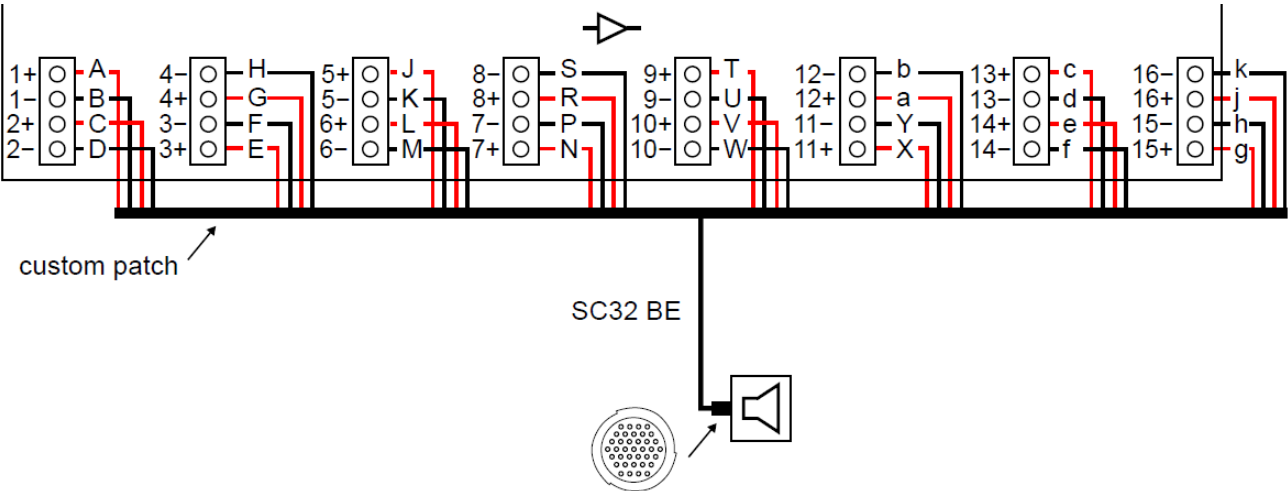


16 チャンネルエンクロージャー

16 チャンネルコネクタ出力



LA7.16i ターミナルブロック出力



スピーカーケーブルに関する推奨事項



ケーブルの品質と抵抗
銅燃線による完全絶縁型の高品質なスピーカーケーブルを使用してください。
単位長あたりの抵抗値が低いゲージのケーブルを用いて、できるだけケーブルを短くします。

最適なシステムパフォーマンスを確保するためにはスピーカーケーブルを短くしておくのがよい方法です。L-Acoustics は、ステレオシステム、L-ISA フロントシステム、アウトフィルシステムなど、スピーカーをステレオ対称に配置する場合、同じタイプ、長さ、ゲージのケーブルを使用することを強くお勧めします。



スピーカーの周波数レスポンスに対するケーブルの影響の詳細については、L-Acoustics の Web サイトの **Education > Scientific resources > Scientific publications** にある **Demystifying the effects of loudspeaker cables** を参照してください。

安定したパフォーマンスを得るための推奨ケーブル長は、次の表を参照してください。

ケーブルゲージ			推奨最大長					
			8 Ω 負荷		4 Ω 負荷		2.7 Ω 負荷	
mm²	SWG	AWG	m	ft	m	ft	m	ft
1.5	18	16	18	60	9	30	---	---
2.5	15	13	30	100	15	50	10	33
4	13	11	50	160	25	80	17	53
6	11	9	74	240	37	120	25	80

より詳細な L-Acoustics 計算ツールにより、接続エンクロージャータイプと数に基づくケーブル長とゲージを評価できます。計算ツールはウェブ
サイトから入手できます：
<https://www.l-acoustics.com/installation-tools/>